

主 直 日 誌

12月4日(月) 天候 bc

主直氏名

【実習・課業の内容】

当直・シフト作業・海洋観測・活餌管理・操業

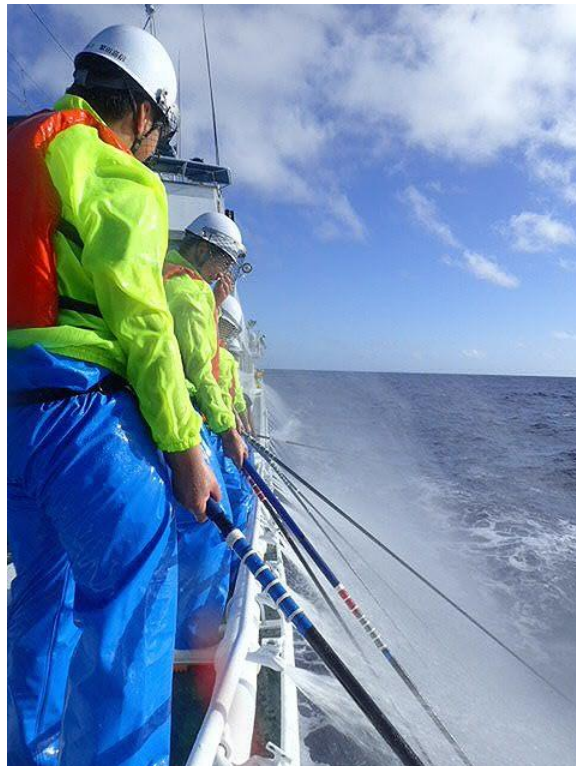
【感想】

操業実習5日目。今日の最初の仕事はカツオのシフト作業です。昨日の作業班に負けない釣果を得ようと気合いが入りました。今日は一日を通して群れに良くあたりました。中には群れに着いた頃には散ってしまう群れや、見えているのにバケを食わない群れがあり、私は少ないチャンスをモノにしようと私なりに工夫しました。投げ餌は食べるがバケには食いつかない事に疑問を感じ幾つか実験をしてみました。まずは、バケの着水についてです。着水させる強さや着水直後の動作を色々と試してみました。幾つか試していくうちに見切られにくい方法を見つけ釣果を伸ばすことが出来ました。次に、バケを改善してみました。二号の針に釣り用のワームをつけ少しだけ魚に似せてみました。この方法は断然魚の食いつきがいいのですが、ワームの尻尾を咥えているだけなのかバラしがとても多く悩まされました。この方法に関してはまだまだ改善していきたいと考えています。

最後にカツオ一本釣りは、多く釣るために個人で色々と試すことが出来るのでとても楽しいです。巻き網や延縄漁には無い魅力だと思います。残り少ない操業実習ですが色々と試し改善し、より充実した実習にしたいと思います。



漁獲物測定中。データは関係する研究施設に提供し、資源管理に活かします。



カツオを船の周りから離れさせないため、散水をします。エサのイワシが跳ねていると勘違いして寄ってくるのです。・・・しかし、海水ですから目にしみます！！